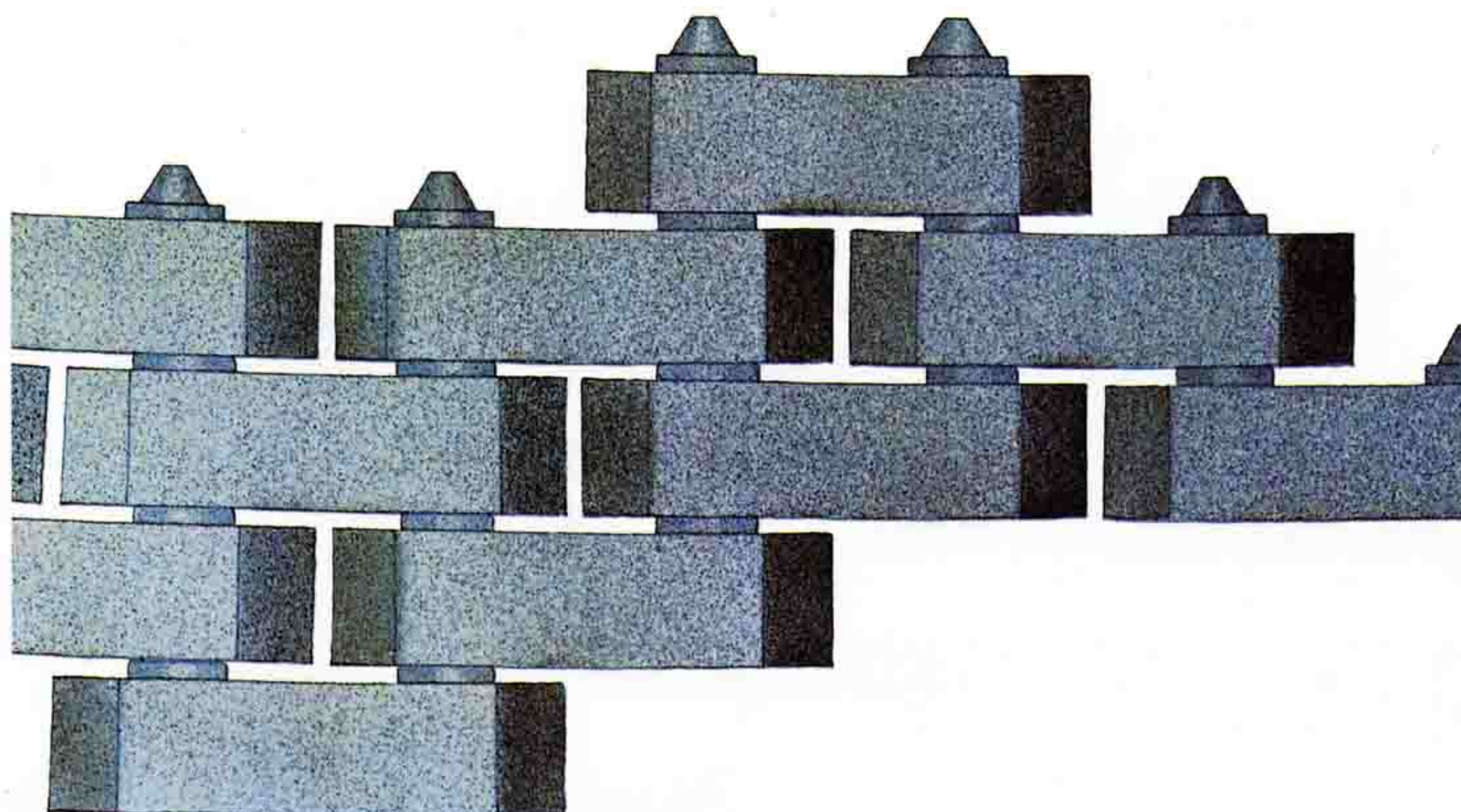


美しい山河を守る多自然型連節ブロック

—テラフィックス—

terrafix®

Interlocking Concrete Block Systems



TAKAMIZAWA
株式会社 高見澤

テラフィックス terrafix®とは？

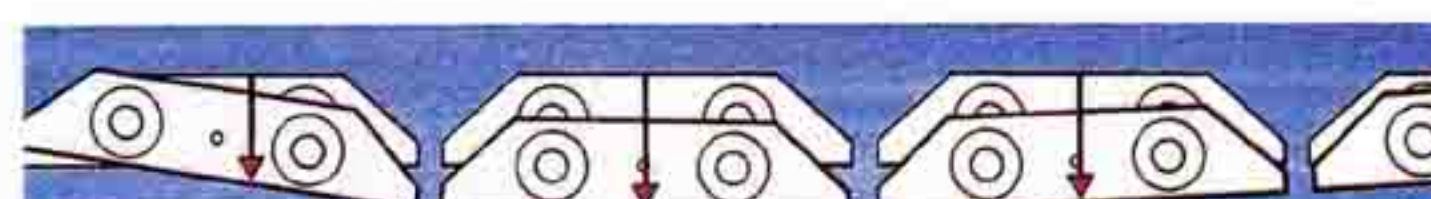
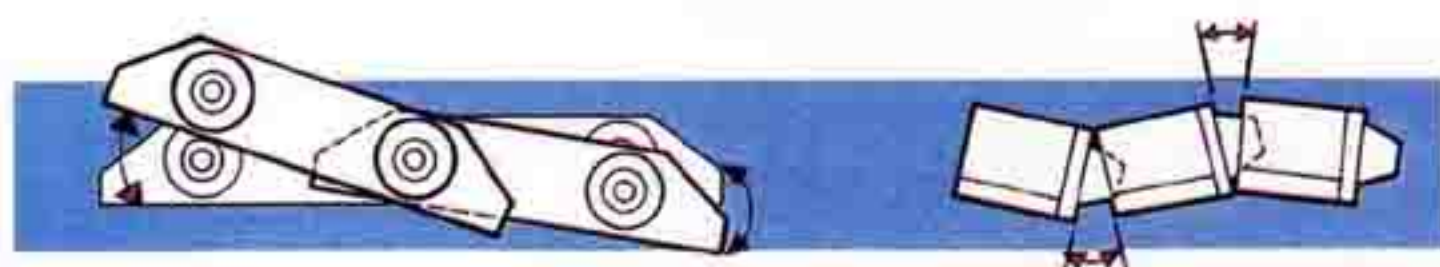
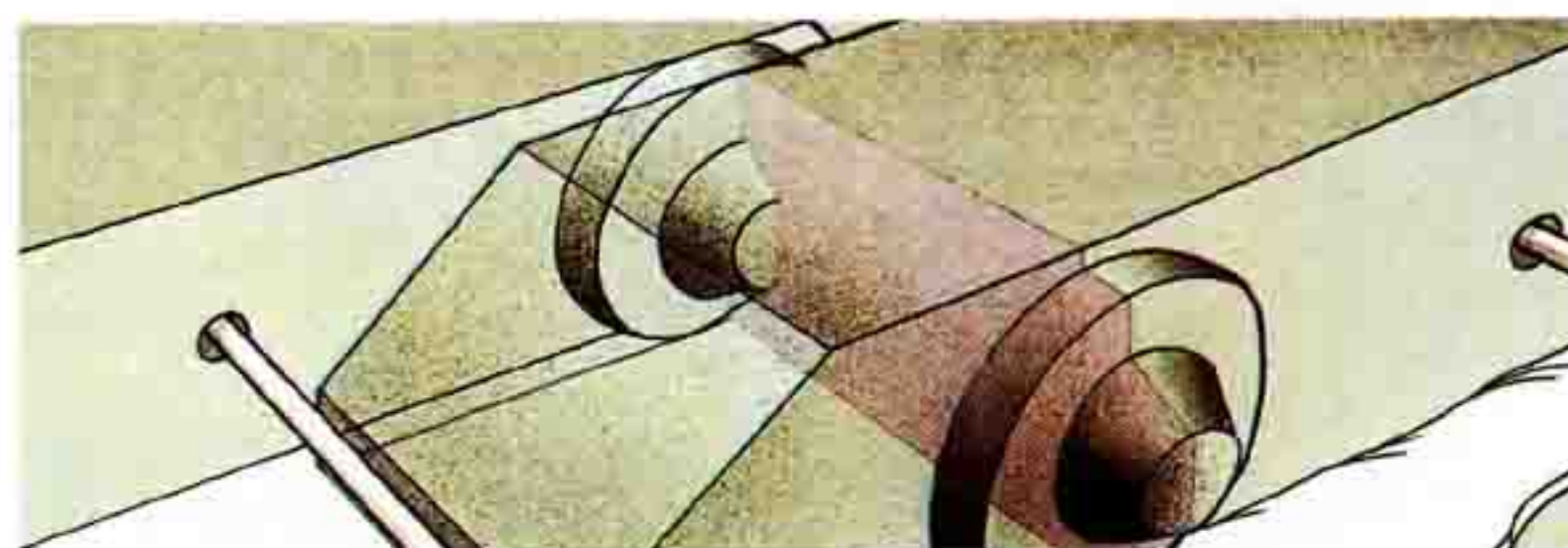
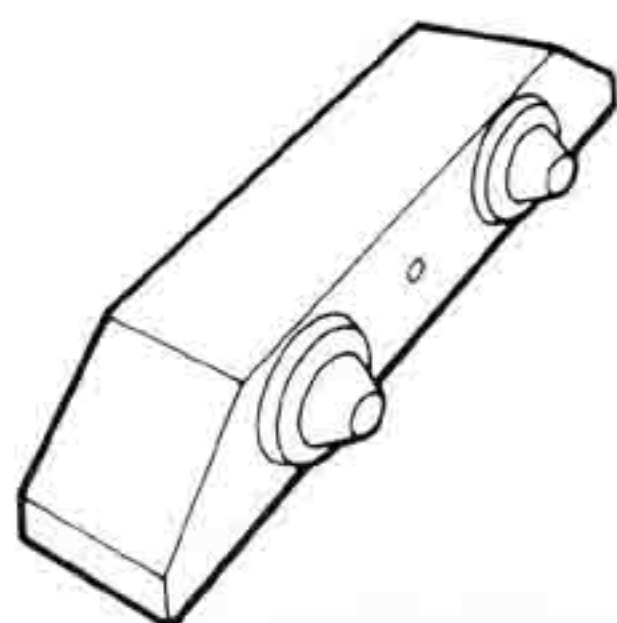
連節ブロック護岸工法は、多自然型護岸工法として適しており、また、建設コスト縮減対策としても最近見直され始めてきております。

このことは、建設省河川局防災・海岸課が平成10年5月に編集した「連節ブロック護岸工法－設計・施工技術基準－(試行案)」の冒頭にも書き記してあります。

「テラフィックス」は、従来の連節ブロックと同等の法面被覆保護効果を持ちながら、植生の復元・環境保全に対する機能と、施工効率を大幅にアップさせた、まさに、時代ニーズに答えを出す新製品です。

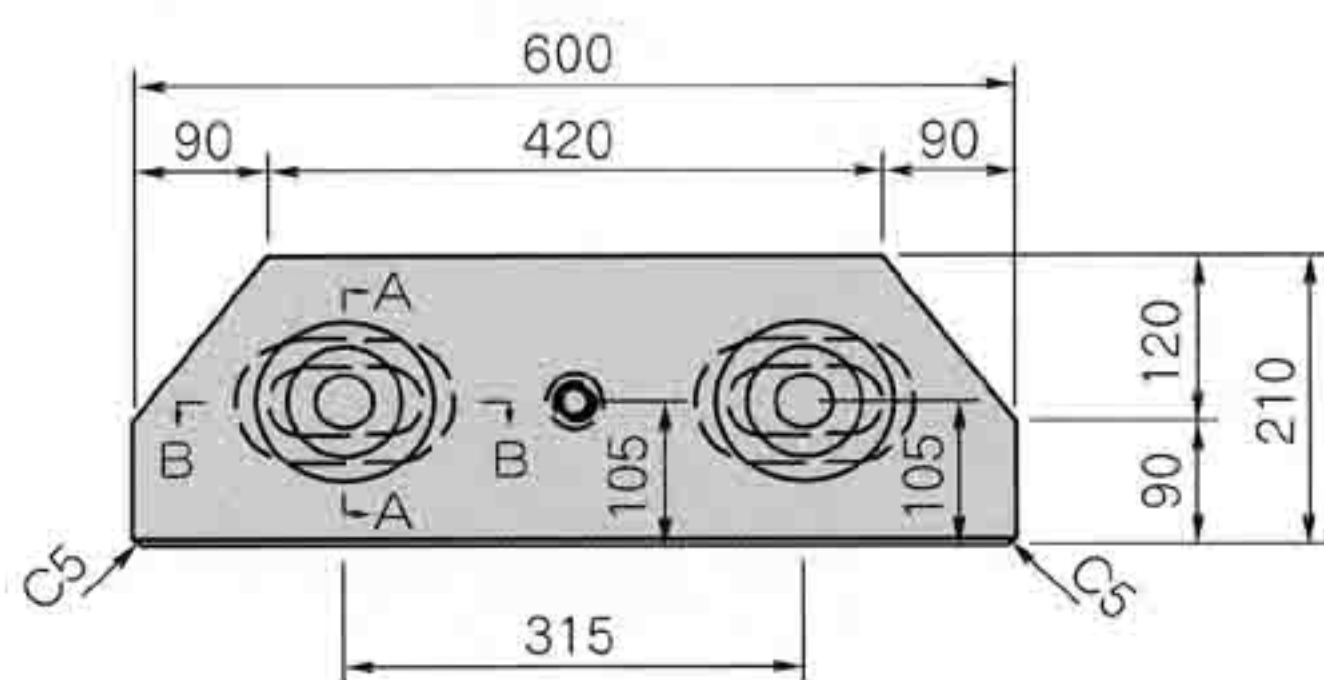
特 長

- ① ブロック相互の目地は縦横それぞれ30mm空きます。このメッシュ状になった目地により、植生の復元力を高めます。
また、縦目地においては、施工後の植物の成長に合わせ、ブロックが左右に動くことが可能で、最大95mmまで拡がることができます。
- ② ブロック相互の連結は、45mmの円形状凹凸構造によるかみ合わせ連結と、胴体を貫通する1本の連結線で連結されます。個々のブロックには、十分なフレキシビリティ（柔軟性）があり、現地形にピッタリ追随できます。
- ③ ブロックは、現場状況に合わせ、裏面・表面リバーシブルに使用できます。
- ④ 連結線が1本であること、また、連結線はブロック胴体を一個おきに貫通させるため、施工効率が向上します。
- ⑤ 寸法が600×180（mm）の横長形状ブロックで配列された護岸は、今までにない幾何学模様となり、覆土をしない場合でも優れた構造美を発揮し、周囲の景観とよく調和します。

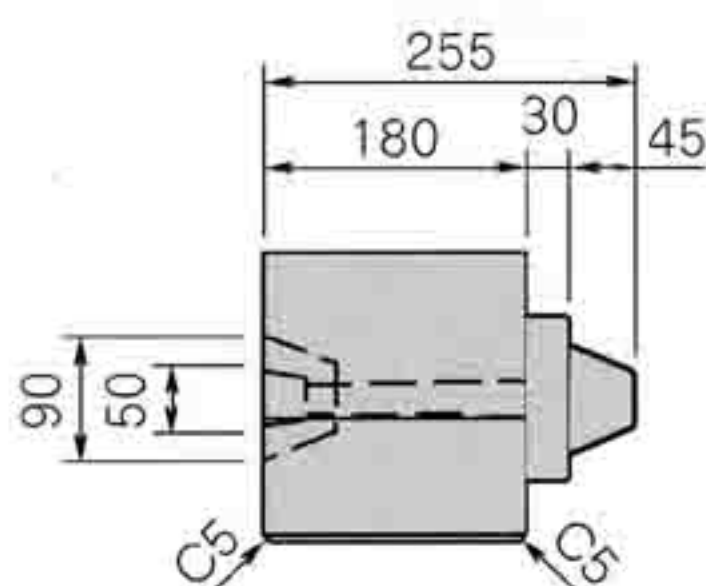


規格寸法図

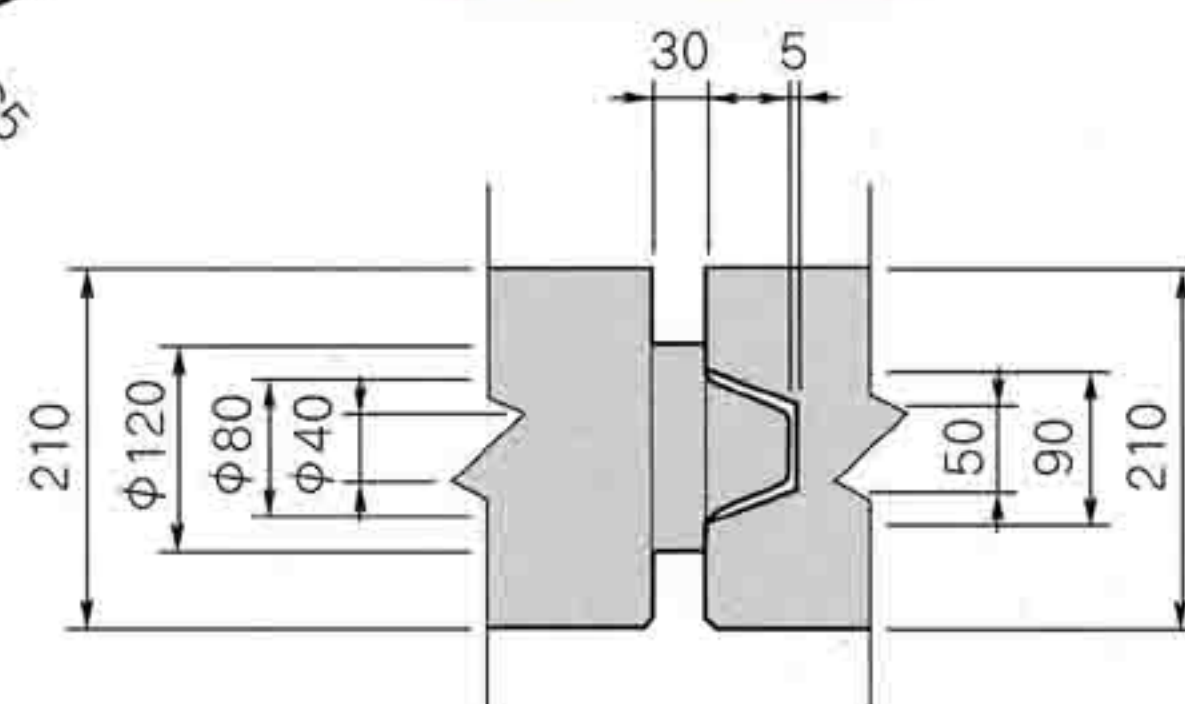
正面图



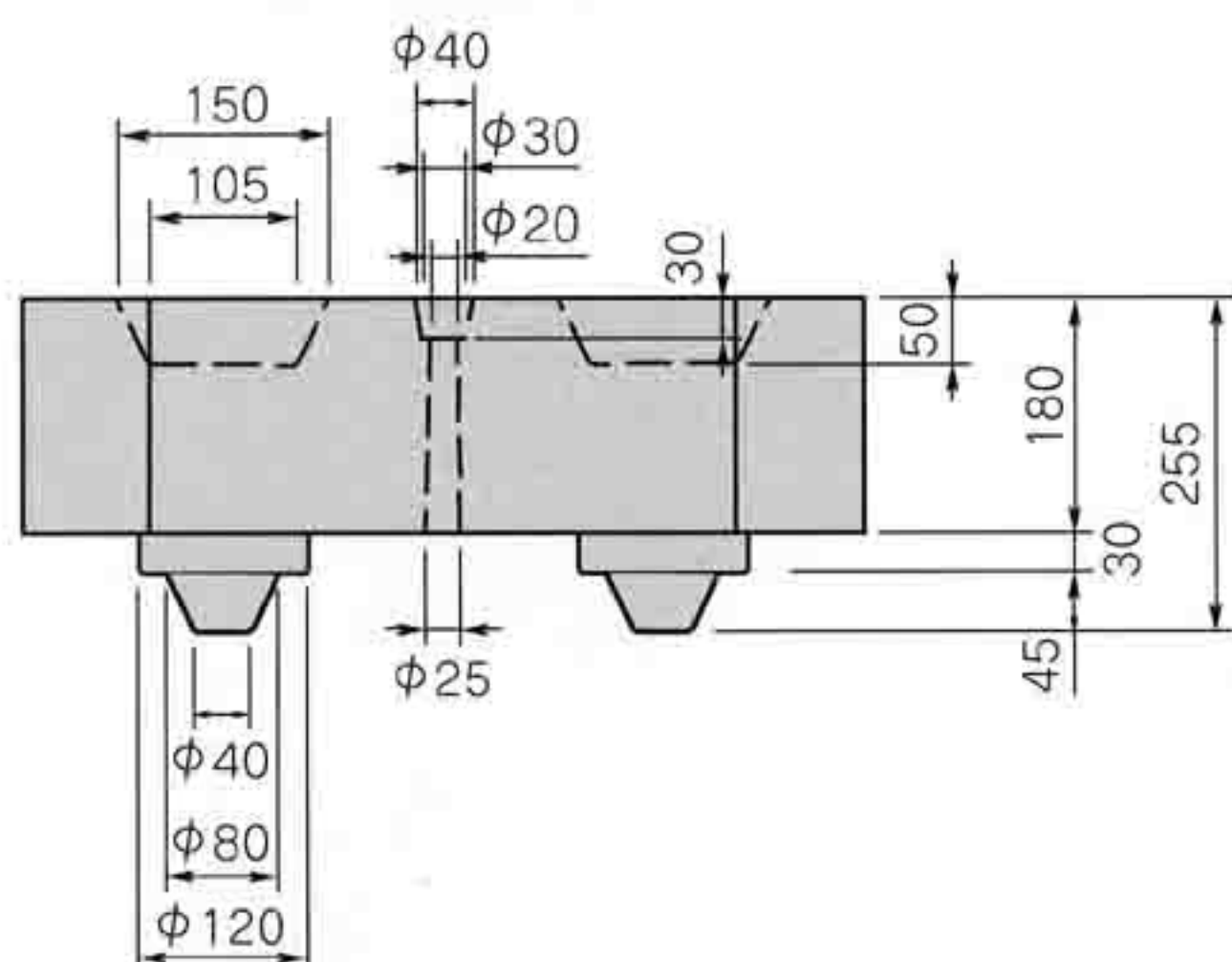
側面図



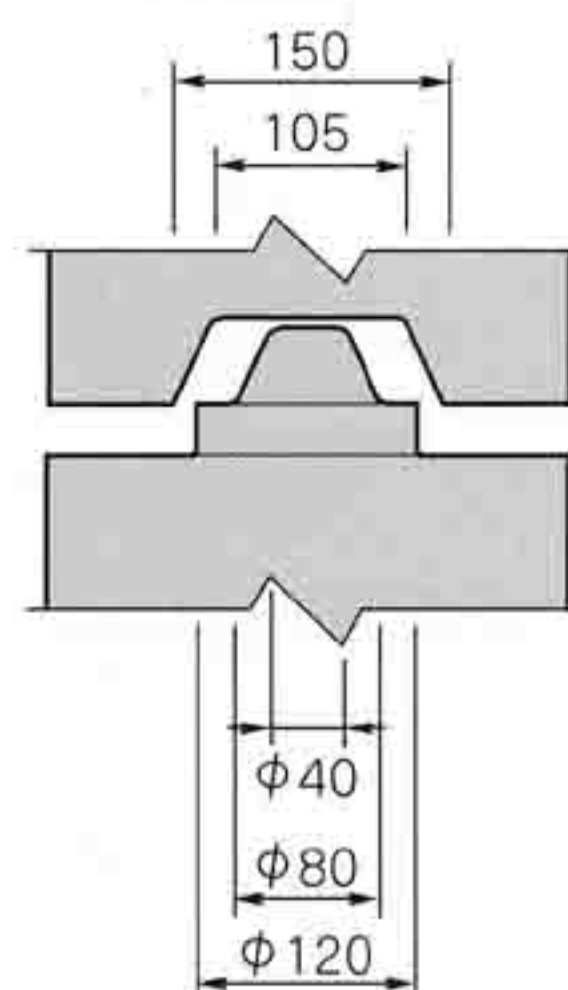
A-A詳細図



平面图



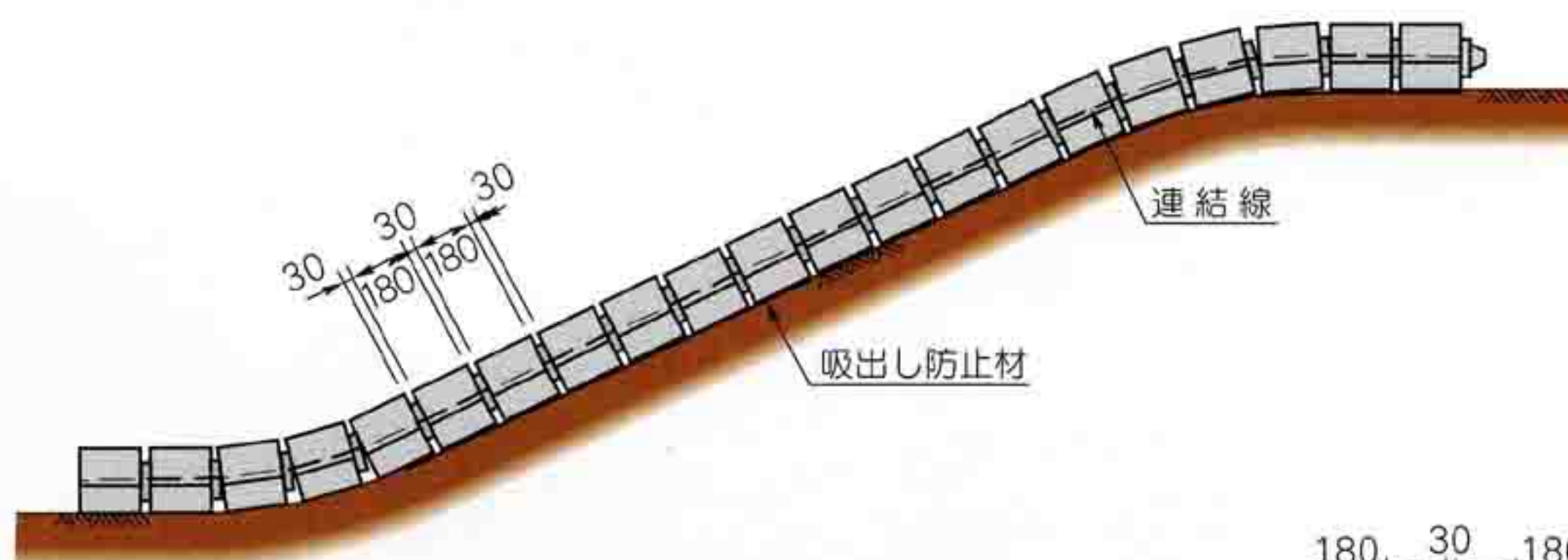
B-B詳細図



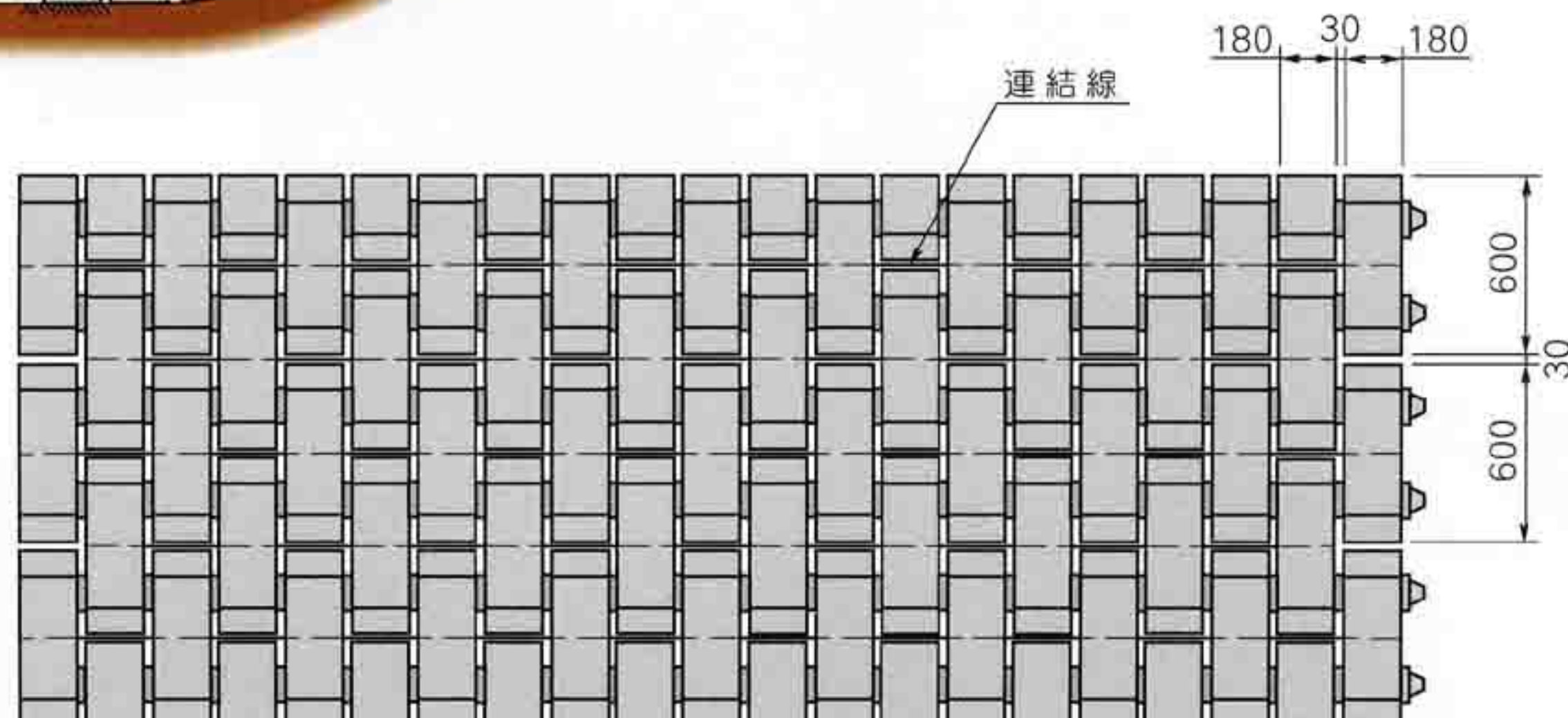
■規格諸元

1㎡当りの 使用個数 (個/㎡)	ブロック1個 の占有面積 (㎡/個)	ブロック1個 の体積 (㎡/個)	ブロック1個 の重量 (kg/個)	1㎡当りの ブロック重量 (kg/㎡)
7.56	0.132	0.0207	47.6	360

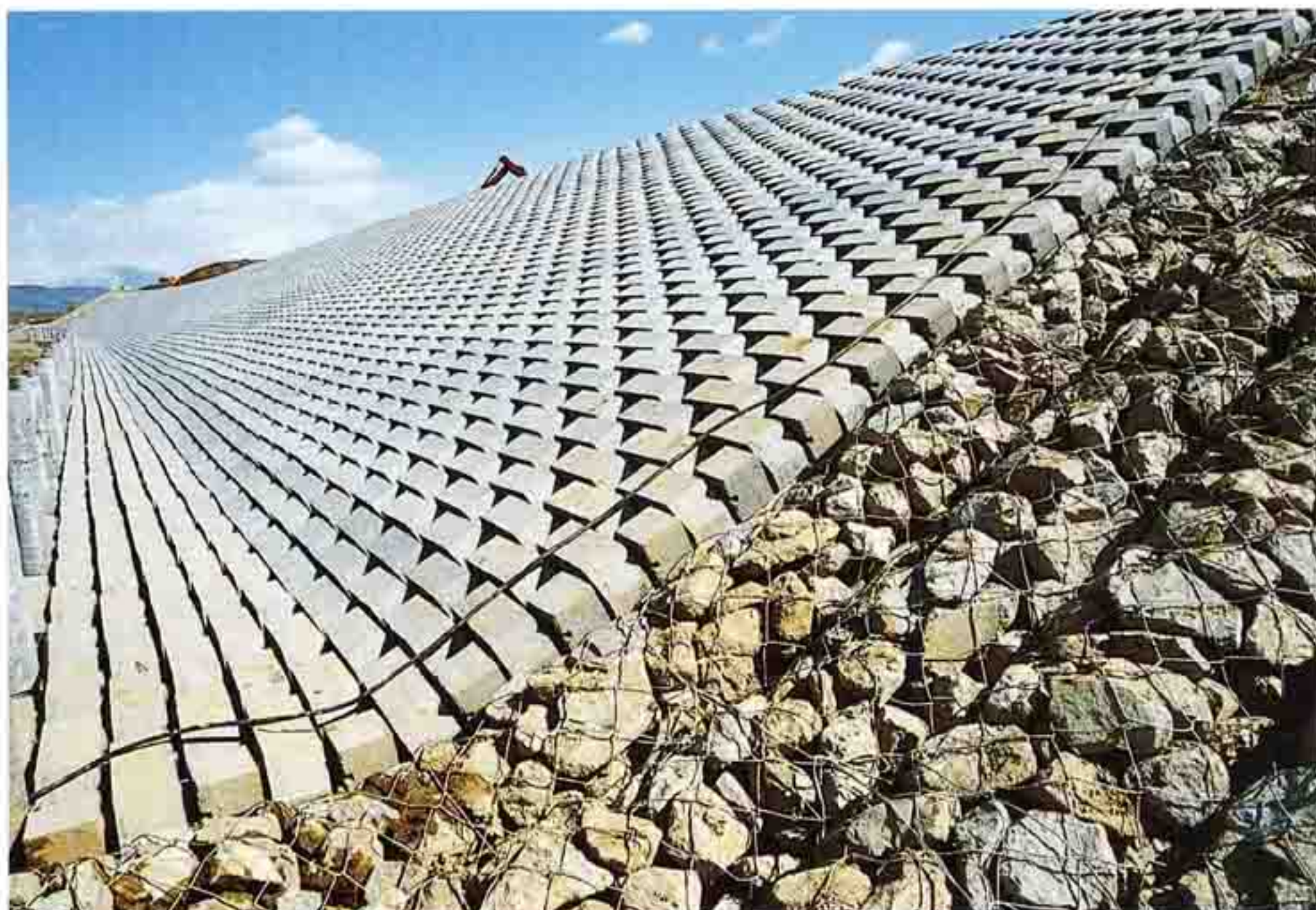
側面図



展開図



○ 施工写真



問い合わせは下記まで



TAKAMISAWA
株式会社 **高見澤**

コンクリート事業部

本部・開発研究所

〒381-0211
長野県上高井郡小布施町雁田1262-23
TEL (026) 247-5711(代)
FAX (026) 247-5066

東京支店

〒104-0031 東京都中央区京橋2-7-15亜細亜ビル3F TEL (03) 3535-2666(代) FAX (03) 3535-8353

上越支店

〒942-0023 新潟県上越市石橋新田六貫野783-2 TEL (0255) 31-1500(代) FAX (0255) 31-1508

小布施事業所 TEL (026) 247-3151(代) 松本営業所 TEL (0263) 37-9970(代)
伊那事業所 TEL (0265) 85-3061(代) 小諸営業所 TEL (0267) 23-1722(代)
豊田事業所 TEL (0269) 26-0710(代) 茅野営業所 TEL (0266) 72-5655(代)